

保健室利用状況に関する調査報告書 平成28年度調査結果(初版)

正誤表

ページ	項目	箇所・行		誤	正	備考
12	第1章学校基本調査	(5)保健室登校していた児童生徒の教室復帰の有無	下から2行目	・・・小学校では低学年が、中学校・高等学校では、学年が低いほど教室復帰が多かった。中学校及び高等学校では、学年が上がるにつれて復帰率が高かった。	・・・小学校では低学年が、中学校及び高等学校では、学年が上がるにつれて復帰率が高かった。	1刷
38	第4章保健室利用状況調査のまとめと考察	I まとめ 1学校基本調査(7)	上から5行目	「発達障害に関する問題」は、小学校24.2%(19.4%)、中学校21.2%(15.3%)、高等学校8.9%(5.8%)であり、すべての学校種で増加した。 また、養護教諭が対応した「いじめに関する問題」は小学校7.4%(2.5%)、中学校7.7%(6.6%)、高等学校1.8%(1.8%)であり、小学校では前回調査の約3倍となった。	「発達障害に関する問題」千人当たりの児童生徒の数については、小学校24.2人(19.4人)、中学校21.2人(15.3人)、高等学校8.9人(5.8人)であり、すべての学校種で増加した。 また、養護教諭が対応した「いじめに関する問題」千人当たりの児童生徒の数については、小学校7.4人(2.5人)、中学校7.7人(6.6人)、高等学校1.8人(1.8人)であり、小学校では前回調査の約3倍となった。	1刷
40	同	II 考察 2考察	上から2行目	アナフラキシーショック・・・	アナフィラキシーショック・・・	1刷